

MIT2004 開催報告

材料基盤情報ステーションでは、各組織と連携して下記の日程で MIT2004 (MIT: 材料基盤情報ステーションの英語名である Materials Information Technology Station の略称) を開催しました。

2004年3月15日 NIMS-RIMAP リスクベース工学ワークショップ
2004年3月16日 NIMS クリープデータシート国際シンポジウム
2004年3月17日 NIMS-MPA ワークショップ

第1日目は、NIMS を核として推進している材料リスク情報プラットフォーム開発プロジェクトと、欧州で進められている RIMAP プロジェクト (Risk-Based Inspection and Maintenance Procedures for European Industry Project) の協力により、『NIMS-RIMAP リスクベース工学ワークショップ』が開催されました。両プロジェクトの活動内容および研究成果を中心に計 12 件の講演発表が行われ、リスクベース工学のプラントへの適用事例や法制化を含めた今後の展望などが議論されました。

第2日目は、NIMS の前身である金属材料技術研究所が 1966 年に開始し、2001 年以降は NIMS が引継いで 38 年間にわたって実施しているクリープデータシートプロジェクトを主要テーマとして、『NIMS クリープデータシート国際シンポジウム』が開催されました。プロジェクト開始当時の状況から、プロジェクトで得られたクリープデータの活用事例、プロジェクトの現状と今後への期待などに加え、欧州における長時間クリープ試験とデータの評価法などに関する国際共同研究の枠組みなどについて、計 10 件の講演発表が行われました。

第3日目は、NIMS と Stuttgart 大学材料試験研究所 (MPA Stuttgart, Germany) が共同で開催し、今回が第4回目となる『NIMS-MPA ワークショップ』が開催されました。テーマは『高 Cr フェライト耐熱鋼の長時間強度評価』であり、高温長時間強度特性と材質劣化挙動、母材と溶接部および構造体についての強度特性評価、高強度耐熱鋼の設計開発などに関する計 12 件の講演発表が行われ、最後に、東大名誉教授藤田利夫先生による特別講演、『50 years Research on Heat Resistant Steels』で3日間の会議を締めくくりました。

今回の会議では、高温強度のメカニズムに関する基礎的な分野から、材料開発やプラントの設計・製作に関わる技術的課題や規格に関する話題、さらには各種高温機器の維持・管理に関する実用面の問題まで対象範囲は多岐に渡りましたが、上記のように開催日毎にそれぞれテーマを設定したため、内容の充実した議論を集中して行うことが出来ました。会議の参加者は、日本、ドイツ、イタリア、デンマーク、フィンランド、米国および韓国から延べ 220 名に上り、下記の講演者以外にも Dr. R. Blum (Elsam, Denmark) や Dr. R. Viswanathan (EPRI, U.S.A.) をはじめ、第一線で活躍している世界中の多くの研究者が出席し、有用な意見・情報交換の場となりました。

講演者リスト (講演順, 敬称略)

2004年3月15日

小林秀男 (東工大教授), Dr. A.S. Jovanovic (MPA Univ. Stuttgart, Germany), 酒井信介 (東大教授), 木原重光 (ベストマテリア), 早坂 靖 (日立製作所), 政友弘明 (住友化学), Dr. R. Kauer (TUV Industry Service, Germany), 吉村 忍 (東大教授), 野邊 潤 (三菱総研), 駒井伸好 (三菱重工業), 阿部富士雄 (NIMS), 藤岡照高 (電力中央研究所)

2004年3月16日

田中良平 (東工大名誉教授), 榎木義淳 (住友金属テクノロジー), Dr. M. Prager (MPC, U.S.A.), Dr. G. Merckling (Istituto Scientifico Breda, Italy), Dr. K.H. Mayer (German Creep Committee, Germany), 阿部富士雄 (NIMS), 増山不二光 (九工大教授), 青木 満 (東京電力), 木村一弘 (NIMS), 松尾 孝 (東工大教授)

2004年3月17日

木村一弘 (NIMS), Dr. P.Auerkari (VTT, Finland), Dr. K.Maile (MPA Univ. Stuttgart, Germany), 田淵正明 (NIMS), Dr. A.Klenk (MPA Univ. Stuttgart, Germany), 山口弘二 (NIMS), 野中 勇 (石川島播磨重工業), 五十嵐正晃 (住友金属), Prof. J.Hald (Elsam/Enery E2, TU Denmark), 阿部富士雄 (NIMS), 藤田利夫 (東大名誉教授)

なお、今回の会議の企画・運営に際しましては、当日だけでなく準備段階から多くの方々にご協力・ご尽力を賜りました。また、ご講演頂いた方々に加え、議論や意見・情報交換等で会議を盛り上げて頂きました多くの参加者のおかげで、実り多い充実した3日間の会議を開催することが出来ました。ここに厚くお礼申し上げます。



吉原理事 (Opening address)



Dr M.Prager (MPC, USA)

田中良平先生



Dr. K.H.Mayer

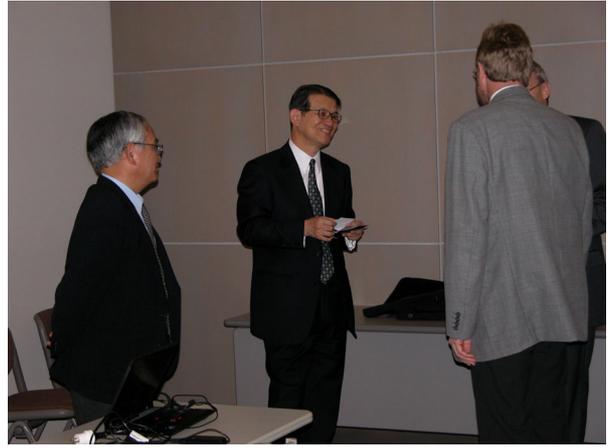
増山不二光先生



Prof.J.Hald (TU Denmark)



Dr R.Viswanathan (EPRI, USA)



八木 St.長 岸理事長 Dr.A.Klenk (MPA)



阿部富士雄氏 Dr.R.Blum (Elsam, Denmark)



Dr. R.Blum 藤田利夫先生 長井 寿氏



八木ステーション長 (Closing address)

阿部富士雄氏